

香川県感染症月報

2011年 第8号 (16/Sep/2011 発行)

Infectious Disease Monthly Report Kagawa

Reported by Infectious Disease Information Center Kagawa

◆ 2011年8月の発生動向(届出数) ☆ 比較は定点あたりの人数による

■ 全数把握感染症の発生状況

1～4類感染症: 2類: 結核 18件 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O-111) 3件
4類: なし
5類感染症: なし

■ 定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

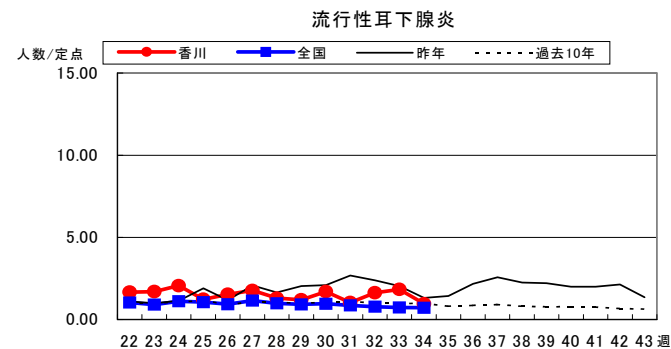
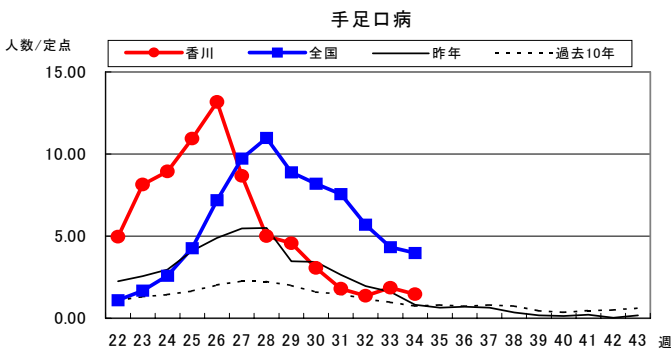
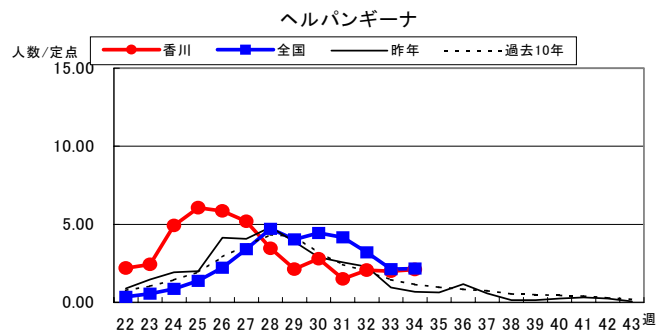
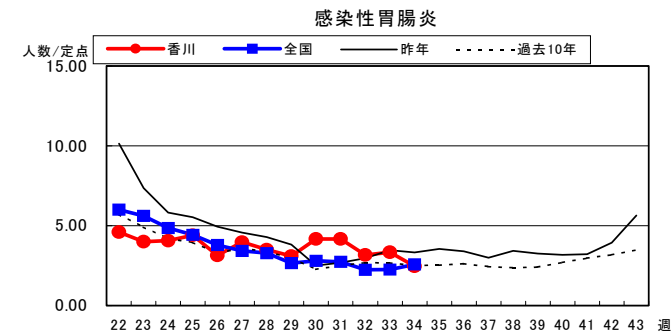
報告患者総数は1,547人で、前月比71.0%と減少した。

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)は定点あたり11.6人で、前月比91.8%と減少した。
2. ヘルパンギーナは定点あたり7.7人で、前月比56.4%と減少した。
3. 手足口病は定点あたり6.5人で、前月比30.5%と著減した。
4. 流行性耳下腺炎は定点あたり5.5人で、前月比91.6%と減少した。
5. RSウイルス感染症は定点あたり4.2人で、前月比378.8%と著増した。

◆ 2011年8月の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾患) ☆ 比較は定点あたりの人数による

疾患名	今月	前月	前月比	過去5カ月の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	11.6 人	12.6 人	91.8%	32.5 人	8.1 人	西讃▽ 東讃▽ 中讃→
② ヘルパンギーナ	7.7 人	13.6 人	56.4%	7.6 人	7.0 人	高松▽ 中讃▽ 西讃▽
③ 手足口病	6.5 人	21.3 人	30.5%	15.0 人	4.4 人	高松▽ 中讃▽ 小豆▽
④ 流行性耳下腺炎	5.5 人	6.0 人	91.6%	10.3 人	4.1 人	東讃▽ 西讃▽ 中讃▽
⑤ RSウイルス感染症	4.2 人	1.1 人	378.8%	0.7 人	0.4 人	高松▽ 中讃▽ 東讃▽

◆ 2011年8月の上位疾患の経過 ☆ 比較は定点あたりの人数による



◆ 2011年9月の流行予測

1. ヘルパンギーナ、手足口病等の夏型感染症は、さらに減少するものと思われる。

香川県感染症情報 平成23年8月

感染症法に基づく、県内の全数把握感染症の平成23年8月分(第31週～第34週 平成23年8月1日～平成23年8月28日)の届出数は21件でした。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
感染症発生件数	15	15	19	16	17	40	21	21				

類型別届出数の累計は次のとおりです。*結核の昨年の数字は、最終確定人数に変更しています。

感染症の類型	届出数 8月	8月まで の累計	昨年同期 累計	昨年1年間 累計	全国の届出数 8月までの累計	
1類感染症		0	0	0	0	
2類感染症		18	130	116	20040	
・結核		18	130	116	20039	
・その他		0	0	0	(急性灰白髄炎) 1	
3類感染症		3	9	11	2,853	
腸管出血性大腸菌		3	8	10	2,666	
O157		0	2	9	—	
O26		0	1	0	—	
その他	(O-111) 3	(O-145:2) (O-111:3) 5	(O-121) 1	1	—	
・細菌性赤痢		0	1	1	149	
・その他		0	0	0	38	
4類感染症		0	6	6	1,069	
・A型肝炎		0	0	0	150	
・レジオネラ症		0	5	5	469	
・オウム病		0	0	0	11	
・Q熱		0	0	0	0	
・その他		0	(チクンガニア熱) 1	(デング熱) 1	(デング熱) 1	439
5類感染症		0	19	14	22	3,473
・ウイルス性肝炎(A・E型を除く)		0	3	0	1	173
・後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)		0	4	3	6	965
・梅毒		0	2	5	8	505
・アメーバ赤痢		0	2	3	3	523
・劇症型溶血性レンサ球菌感染症		0	2	1	1	154
・クロイツフェルトヤコブ病		0	2	1	2	84
・急性脳炎		0	2	0	0	203
・風しん		0	1	0	0	306
・麻しん		0	1	0	0	389
・その他		0	0	(ジアルジア症) 1	(ジアルジア症) 1	171

次回の感染症情報(平成23年9月分)については、県内分取りまとめ次第、情報提供いたします。